

番号		設計 の 理 由	道路整備計画に伴い本工を要す	工期	255日間	施行 方法	一般競争
3	補						

実 施 設 計 書 道 路 改 良 工 事 町道3-123号線上三川町大字石田地内(その6) 延長 L = 201.0m幅員 W = 11.0～15.9m 高さ H = 設計概要 <table><tr><td>路床置換工</td><td>有効層 RC-100 t=70cm</td><td>1851㎡</td></tr><tr><td>カルバート工</td><td>プレキャストボックスカルバート 400*400</td><td>7.8m</td></tr><tr><td>排水構造物工</td><td>管(函)渠型側溝 300×300、400×600～700</td><td>215.8m</td></tr><tr><td>舗 装 工</td><td>下層路盤 RC-40 t=15cm、上層路盤 M-40 t=15cm</td><td>1812㎡</td></tr><tr><td>舗 装 工</td><td>基層 エコスラグ入り再生粗粒度As t=5cm</td><td>1877㎡</td></tr><tr><td>舗 装 工</td><td>表層工 エコスラグ入り再生密粒度As t=5cm</td><td>1877㎡</td></tr></table>							路床置換工	有効層 RC-100 t=70cm	1851㎡	カルバート工	プレキャストボックスカルバート 400*400	7.8m	排水構造物工	管(函)渠型側溝 300×300、400×600～700	215.8m	舗 装 工	下層路盤 RC-40 t=15cm、上層路盤 M-40 t=15cm	1812㎡	舗 装 工	基層 エコスラグ入り再生粗粒度As t=5cm	1877㎡	舗 装 工	表層工 エコスラグ入り再生密粒度As t=5cm	1877㎡	課 長
							路床置換工	有効層 RC-100 t=70cm	1851㎡																
							カルバート工	プレキャストボックスカルバート 400*400	7.8m																
							排水構造物工	管(函)渠型側溝 300×300、400×600～700	215.8m																
							舗 装 工	下層路盤 RC-40 t=15cm、上層路盤 M-40 t=15cm	1812㎡																
							舗 装 工	基層 エコスラグ入り再生粗粒度As t=5cm	1877㎡																
							舗 装 工	表層工 エコスラグ入り再生密粒度As t=5cm	1877㎡																
							主 幹																		
補 佐																									
係 長																									
検算者																									
設計者																									

設計用紙 (甲)				上 三 川 町			
請 負 工 事 費 金 内 訳 工 事 価 格 消費税相当額							

予 算 額			増減額	予算額に対する		理 由
実 施 回	設計額			増 減 額		
	請 負 額			前設計額 請負額		
	請 負 率			に 対 す る		
今回変更	設計額			増 減 額		
	請 負 額					

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	13 上三川町 実施設計書 当初 03-13001631236-40 0			
適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代	1 実施単価 11 宇都宮土木事務所管内 0-030410(0)			
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 R3年度 道路改良工事 町道3-123号線その6, ES5			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 I C T施工補正の有無 消費税等の率	40 04 道路改良工事 00 計上しない 12 市街地以外 02 一般交通影響あり（2） 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 01 補正なし 06 10%適用			

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
＊＊本	工	事＊＊								X1000	
道路改良										Y0HZZ	
					1 式						
道路土工										Y0H1Y	
					1 式						
掘削工										Y0H1Y200	
					1 式						
掘削										Y0H1Y200A00	
					1 式						
掘削 土砂 オープンカット										SZA101 0	
		1,840		m	3					施工 第0-0010号内訳表	
路床盛土工										Y0H1Y257	
					1 式						
路床盛土										Y0H1Y257A07	
					1 式						
路床盛土 2.5m未満										SZA117 0	
		2		m	3					施工 第0-0011号内訳表	

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
残土処理工				1 式					Y0H1Y205	
土砂等運搬				1 式					Y0H1Y205A01	
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 15.5km以下	1,836		m	3					SZA105 0	施工 第0-0012号内訳表
地盤改良工				1 式					Y0H01	
置換工				1 式					Y0H0125A	
置換				1 式					Y0H0125A40F	
路床置換工（有効層） 仕上がり厚 7 0 c m	1,851		m	2					S1801 0	施工 第0-0013号内訳表
路床置換工（無効層） 再生クラッシャーラン R C 1 0 0	1,890		m	2					S1803 0	施工 第0-0015号内訳表
カルバート工				1 式					Y0H20	

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストカルバート工			1 式			Y0H2025G
プレキャストボックス			1 式			Y0H2025G674
ボックスカルバート 据付 2.0m/個 全ての費用	7.8	m				SZA585 0 施工 第0-0017号内訳表
排水構造物工			1 式			Y0H25
作業土工			1 式			Y0H25200
床掘り			1 式			Y0H2520040R
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	19	m 3				SZA161 0 施工 第0-0018号内訳表
埋戻し			1 式			Y0H252005F2
埋戻し 土砂 小規模 全ての費用	19	m 3				SZA181 0 施工 第0-0019号内訳表

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
側溝工									Y0H25201	
				1 式						
管（函）渠型側溝工									Y0H2520143G	
				1 式						
暗渠側溝（1） 300×300 標準部 固定スリット 縁石加工有									G0100	
	134.8	m							科目 第0001号内訳表	
暗渠側溝（1） 300×300 集水部 固定スリット 縁石加工有									G0101	
	14.0	m							科目 第0002号内訳表	
暗渠側溝（A） 300×300 標準部 固定スリット 縁石加工無									G0102	
	43.6	m							科目 第0003号内訳表	
暗渠側溝（A） 300×300 集水部 固定スリット 縁石加工無									G0103	
	4.0	m							科目 第0004号内訳表	
暗渠側溝（B） 400×600 標準部 固定スリット 縁石加工無									G0104	
	9.4	m							科目 第0005号内訳表	
暗渠側溝（B） 400×700 標準部 固定スリット 縁石加工無									G0105	
	10.0	m							科目 第0006号内訳表	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 バックホウ（クレーン機能付）打設 全ての費用	1	m ³							SZB401 0	
									施工 第0-0020号内訳表	

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
集水桝・マンホール工			1 式			Y0H25203
プレキャスト街渠桝			1 式			Y0H252035NQ
街渠桝(2) 400×600	1		箇所			G0106 科目 第0007号内訳表
街渠桝(2) 400×700	1		箇所			G0107 科目 第0008号内訳表
構造物撤去工			1 式			Y0H09
防護柵撤去工			1 式			Y0H092HG
防護柵（横断・転落防止柵）撤去			1 式			Y0H092HG50B
転落防止柵撤去工 ビーム式 土中建込用 支柱間隔 3 m	51.0		m			SF286 0 施工 第0-0021号内訳表
構造物取壊し工			1 式			Y0H0921D

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート構造物取壊し		1 式			Y0H0921D43Y
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要	34	m 3			S4638 0 施工 第0-0022号内訳表
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要	5	m 3			S4638 0 施工 第0-0023号内訳表
舗装版切断		1 式			Y0H0921DA6E
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	7.9	m			SZD321 0 施工 第0-0024号内訳表
舗装版破碎		1 式			Y0H0921DA6G
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	1,169	m 2			SZD311 0 施工 第0-0025号内訳表
運搬処理工		1 式			Y0H092H0
殻運搬		1 式			Y0H092H0A0K

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設廃棄物収集・運搬費 2tダンプ車 片道10kmまで	0.6	t			T2773 0
殻運搬 舗装版破碎 6.5km以下 全ての費用	113	m 3			SZA961 0 施工 第0-0026号内訳表
殻運搬 コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 11.5km以下 全ての費用	39	m 3			SZA961 0 施工 第0-0027号内訳表
舗装版切断運搬費(汚泥) 2 t 車 片道2 5 k mまで	0.1	m 3			T8232 0
殻処分		1 式			Y0H092H0A0L
処分費 アスファルト	113	m 3			S0020 0 施工 第0-0028号内訳表
処分費 コンクリート(鉄筋)	34	m 3			S0020 0 施工 第0-0029号内訳表
処分費 コンクリート(無筋)	5	m 3			S0020 0 施工 第0-0030号内訳表
処分費 舗装版切断汚泥	0.1	m 3			S0020 0 施工 第0-0031号内訳表

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装					1 式					Y01ZZ	
舗装工					1 式					Y0I24	
アスファルト舗装工					1 式					Y0I24212	
下層路盤（車道・路肩部）					1 式					Y0I24212A1J	
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工 全ての費用		1,812		m	2					SZD005 0	施工 第0-0032号内訳表
下層路盤（歩道部）					1 式					Y0I24212A1K	
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 全ての費用		334		m	2					SZD006 0	施工 第0-0033号内訳表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚 3 7 0 mm 2層施工 全ての費用		18		m	2					SZD006 0	施工 第0-0034号内訳表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚 5 2 0 mm 3層施工 全ての費用		21		m	2					SZD006 0	施工 第0-0035号内訳表

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤（車道・路肩部）			1 式			Y0I24212A1L
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整砕石 全仕上り厚 1 5 0 mm 全ての費用	1,812		m 2			SZD009 0 施工 第0-0036号内訳表
基層（車道・路肩部）			1 式			Y0I24212A1N
基層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚 5 0 mm 全ての費用	1,877		m 2			SZD021 0 施工 第0-0037号内訳表
表層（車道・路肩部）			1 式			Y0I24212A1S
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚 5 0 mm 全ての費用	1,877		m 2			SZD023 0 施工 第0-0038号内訳表
表層（歩道部）			1 式			Y0I24212A1T
表層（歩道部） 1.4m以上 平均仕上り厚 3 0 mm 全ての費用	531		m 2			SZD027 0 施工 第0-0039号内訳表
縁石工			1 式			Y0I31

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁石工			1 式			Y0I31201
歩車道境界ブロック			1 式			Y0I3120143N
歩車道境界ブロック 設置 B種(180/205×250×600)	127.4	m				SZD241 0 施工 第0-0040号内訳表
歩車道境界ブロック 設置 各種(600mm以下、50kg未満)	20.2	m				SZD241 0 施工 第0-0041号内訳表
区画線工			1 式			Y0I33
区画線工			1 式			Y0I33200
溶融式区画線			1 式			Y0I3320043T
区画線設置工 溶融式(手動) 実線 15cm 全ての費用	340	m				S4600 0 施工 第0-0042号内訳表
区画線設置工 溶融式(手動) 破線 15cm 全ての費用	109	m				S4600 0 施工 第0-0043号内訳表

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路付属施設工			1 式			Y0I28
道路付属物工			1 式			Y0I2821C
道路鋸			1 式			Y0I2821C43X
道路付属物設置工 道路鋸設置 小型鋸 両面 貼付式樹脂製 幅 1 0 c m	18		個			SF567 0 施工 第0-0044号内訳表
仮設工			1 式			Y0I36
交通管理工			1 式			Y0I36232
交通誘導警備員			1 式			Y0I36232Y21
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員 B	1		式			S0914 0 施工 第0-0045号内訳表

＊本工事費＊

内訳表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊＊直接工事費＊＊						
共通仮設費（ 率分）			1 式			
＊＊共通仮設費計＊＊						
＊＊純工事費＊＊						
現場管理費			1 式			
＊＊工事原価＊＊						
一般管理費等			1 式			
契約保証費			1 式			
＊＊一般管理費等計＊＊						

＊ 本工事費 ＊

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
消費税・地方 消費税額			1 式			
＊ ＊ 請負工事費 ＊ ＊						

暗渠側溝（1） 300×300 標準部 G0100

科目内訳表

科目 第0001号内訳表 頁0-0015

施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 全ての費用		10.0	m			SZA597 0
						施工 第0-0001号内訳表
小計		10.0	m			
計		1	m			

暗渠側溝（1） 300×300 集水部 G0101

科目内訳表

科目 第0002号内訳表 頁0-0016

固定スリット 縁石加工有 10.0 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 全ての費用	10.0	m			SZA597 0 施工 第0-0002号内訳表
小計	10.0	m			
計	1	m			

暗渠側溝（A） 300×300 標準部
G0102

科目内訳表

科目 第0003号内訳表
頁0-0017

固定スリット 縁石加工無 10.0 m 当り

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 全ての費用		10.0	m			SZA597 0
						施工 第0-0003号内訳表
小計		10.0	m			
計		1	m			

暗渠側溝（A） 300×300 集水部
G0103

科目内訳表

科目 第0004号内訳表
頁0-0018

固定スリット 縁石加工無		10.0		m	当り	
施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 全ての費用		10.0	m			SZA597 0 施工 第0-0004号内訳表
小計		10.0	m			
計		1	m			

暗渠側溝（B） 400×600 標準部
G0104

科目内訳表

科目 第0005号内訳表
頁0-0019

固定スリット 縁石加工無		10.0	m	当り		
施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	管（函）渠型側溝 据付 300mmを超え400mm以下 全ての費用	10.0	m			SZA597 0
						施工 第0-0005号内訳表
	小計	10.0	m			
	計	1	m			

暗渠側溝 (B) 400×700 標準部 G0105

科目内訳表

科目 第0006号内訳表

頁0-0020

固定スリット 縁石加工無		10.0	m	当り		
施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	管（函）渠型側溝 据付 300mmを超え400mm以下 全ての費用	10.0	m			SZA597 0 施工 第0-0006号内訳表
	小計	10.0	m			
	計	1	m			

街渠枳(2) 400×600

G0106

科目内訳表

科目 第0007号内訳表

頁0-0021

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付 400kgを超え600kg以下 全ての費用	プレキャスト集水枳	1		基			SZA601 0
	プレキャスト集水枳（材料費）						施工 第0-0007号内訳表
		1		基			施工 第0-0008号内訳表
計		1		箇所			

街渠枋(2) 400×700

G0107

科目内訳表

科目 第0008号内訳表

頁0-0022

1 箇所 当り

[illegible]

数量総括表

本線

数量計算書

本線

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
道路改良	道路土工	切土	掘削		m3	1840	
		路肩盛土	路床盛土	2.5m未満	m3	2	
		残土処理			m3	1836	
	地盤改良工	置換工	路床置換	有効層	m2	1851	
				無効層	m2	1890	
	カルパート工	カルパート	ボックスカルパート	400x400	m	7.8	
	排水構造物工	作業土工	床掘		m3	19	
			埋戻し		m3	19	
		側溝工	暗渠側溝(1)	300x300	m	134.8	
				集水部	m	14.0	
			暗渠側溝(A)	300x300	m	43.6	
				集水部	m	4.0	
			暗渠側溝(B)	400x600	m	9.4	
				400x700	m	10.0	
		コンクリート	調整コンクリート	18・8・25	m	1.0	
		集水桝工	街渠桝(2)	400x600	箇所	1.0	
				400x700	箇所	1.0	
	防護柵	防護柵撤去	転落防止柵撤去		m	51.0	
		運搬処理工		鉄くず	t	0.6	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断	As舗装版切断(t=15cm以下)	m	7.9	
			舗装版破碎	As舗装版撤去(t=15cm以下)	m2	1169	
		排水構造物撤去工	構造物とりこわし工	有筋	m3	34	
				無筋	m3	5	
		運搬処理工	As廃材処分		m3	113	
			Co廃材処分	有筋	m3	34	
				無筋	m3	5	
			切断汚泥処分		m3	0.1	

数量計算書

本線

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
舗装	舗装工	車道舗装	下層路盤工	再生骨材(RC-40) t=15cm	m ²	1812	
			上層路盤工	粒調碎石(0~40) t=15cm	m ²	1812	
			基層工	エコスラグ入り再生粗粒度A ₂₀ (20)~50	m ²	1877	
			表層工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)~50	m ²	1877	
		歩道舗装 (一般部)	路盤工	再生骨材(RC-40) t=10cm	m ²	334	
			表層工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)~50	m ²	482	
		歩道舗装 (乗り入れ部Ⅱ)	路盤工	再生骨材(RC-40) t=37cm	m ²	18	
			表層工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)~50	m ²	28	
		歩道舗装 (乗り入れ部Ⅲ)	路盤工	再生骨材(RC-40) t=52cm	m ²	21	
			表層工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)~50	m ²	21	
	縁石工	縁石工	歩車道 境界ブロック	(1) 一般部	m	127.4	
			歩車道 境界ブロック	(2) 乗入部	m	20.2	
	区画線工	区画線工	溶融式区画線	白色実線(W=15cm)	m	340	
				白色破線(W=15cm)	m	109	
	道路付属施設工	道路付属物工	道路鋳	両面反射型	個	18	

道 路 土 工

本線

土工数量集計表

本線

レベル 2 工 種	レベル 3 種 別	レベル 4 細 別	レベル 5 規 格	単位	数 量	摘 要
道路土工	切土	掘削		m3		
					1840	
	盛土	路肩盛土		m3		
					2	
	残土処理			m3		
					1836	

土工集計表

本線

[illegible]

土 量 計 算 書

本線

測 点	距 離	土 工						摘 要
		掘 削						
		断面積	平均断面	土量				
42 + 10.000	0.0	9.0						
43 + 0.000	10.0	8.8	8.90	89.0				
43 + 9.864	9.9	9.0	8.90	88.1				
44 + 0.000	10.1	9.0	9.00	90.9				
45 + 0.000	20.0	9.2	9.10	182.0				
45 + 3.376	3.4	9.2	9.20	31.3				
45 + 18.800	15.4	9.5	9.35	144.0				
45 + 18.800	0.0	11.5						
46 + 0.000	1.2	11.5	11.50	13.8				
47 + 0.000	20.0	11.7	11.60	232.0				
47 + 14.576	14.6	10.8	11.25	164.3				
48 + 0.000	5.4	10.4	10.60	57.2				
49 + 0.000	20.0	13.9	12.15	243.0				
49 + 10.000	10.0	13.5	13.70	137.0				
50 + 0.000	10.0	11.9	12.70	127.0				
50 + 3.329	3.3	11.6	11.75	38.8				
51 + 0.000	16.7	12.5	12.05	201.2				
計	170.0			1839.6			0.0	

土 量 計 算 書

本線

測 点	距 離	土 工						摘 要
		歩道盛土			路肩盛土			
		断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	
42 + 10.000	0.0	0.0			0.0			
43 + 0.000	10.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
43 + 9.864	9.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
44 + 0.000	10.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
45 + 0.000	20.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
45 + 3.376	3.4	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
46 + 0.000	16.6	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
47 + 0.000	20.0	0.0	0.00	0.0	0.1	0.05	1.0	
47 + 14.576	14.6	0.0	0.00	0.0	0.0	0.05	0.7	
48 + 0.000	5.4	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
49 + 0.000	20.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
49 + 10.000	10.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
50 + 0.000	10.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
50 + 3.329	3.3	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
51 + 0.000	16.7	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	
計	170.0			0.0			1.7	

地盤改良工

本線

地盤改良工数量集計表

本線

[illegible]

路床置換工

有効層全体

$$A = 1889.5$$

$$V = 1889.5 \times 0.7 = 1322.7 \text{ m}^3$$

排除体積

排除合計

・左側

$$V = 16.8 \text{ m}^3$$

・右側

$$V = 10.4 \text{ m}^3$$

排除後体積

$$V = 1322.7 - 16.8 - 10.4 = 1295.5 \text{ m}^3$$

排除後面積

$$A = 1295.5 \div 0.7 = 1850.6 \text{ m}^2$$

路 床 置 換 計 算 書

本線

測 点	距 離	路床置換						摘 要
		無効層・有効層						
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積	
42 + 10.000	0.0	7.79						
43 + 0.000	10.0	7.41	7.60	76.0				
43 + 9.864	9.9	7.35	7.38	73.1				
44 + 0.000	10.1	7.34	7.35	74.2				
45 + 0.000	20.0	7.35	7.35	147.0				
45 + 3.376	3.4	7.36	7.36	25.0				
45 + 18.800	15.4	7.50	7.43	114.4				
45 + 18.800	0.0	8.95						
46 + 0.000	1.2	8.95	8.95	10.7				
47 + 0.000	20.0	9.24	9.10	182.0				
47 + 14.576	14.6	9.56	9.40	137.2				
48 + 0.000	5.4	9.59	9.58	51.7				
49 + 0.000	20.0	10.14	9.87	197.4				
49 + 10.000	10.0	10.74	10.44	104.4				
50 + 0.000	10.0	11.34	11.04	110.4				
50 + 3.329	3.3	11.54	11.44	37.8				
51 + 0.000	16.7	11.75	11.65	194.6				
	車道舗装 : a1			353.6				
計	170.0			1889.5			0.0	

路床置換計算書

本線

測 点	距 離	路床置換 側溝部排除						摘 要
		有効層 左側			有効層 右側			
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積	
45 + 18.900	0.0	0.45						暗渠側溝(1) 300×300
46 + 0.000	1.1	0.45	0.45	0.5				
47 + 0.000	20.0	0.45	0.45	9.0				
47 + 14.576	14.6	0.45	0.45	6.6				
48 + 0.000	5.4	0.45	0.45	2.4				
49 + 0.000	20.0	0.45	0.45	9.0				
49 + 10.000	10.0	0.45	0.45	4.5				
50 + 0.000	10.0	0.45	0.45	4.5				
	81.1			36.5				
小計					36.5×0.23=		8.4	m3
計							8.4	排除体積(m3)
						</		

路床置換計算書

本線

測 点	距 離	路床置換 側溝部排除						摘 要
		有効層 左側			有効層 右側			
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積	
42 + 10.000	0.0				0.57			暗渠側溝 (B) 400×700
43 + 0.000	10.0				0.57	0.57	5.7	
小計							5.7	
					5.7×0.62=		3.5	m³
43 + 0.500	0.0				0.57			暗渠側溝 (B) 400×600
43 + 9.900	9.4				0.57	0.57	5.4	
							5.4	
小計					5.4×0.52=		2.8	m³
43 + 10.800	0.0				0.45			暗渠側溝 (A) 300×300
44 + 0.000	9.2				0.45	0.45	4.1	
45 + 0.000	20.0				0.45	0.45	9.0	
45 + 3.376	3.4				0.45	0.45	1.5	
45 + 18.400	15.0				0.45	0.45	6.8	
小計							21.4	
					21.4×0.19=		4.1	m³
合計	67.0						10.4	排除体積(m3)

カルバート工

本線

カルバート工計算書

本線

レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
カルバート工	カルバート工	ボックスカルバート	400x400	m	7.8	

排水構造物工

本線

排水構造物工数量集計表

本線

レベル 2 工 種	レベル 3 種 別	レベル 4 細 別	レベル 5 規 格	単位	数 量	摘 要
排水構造物工	作業土工	床掘		m3	19	
		埋戻し		m3	19	
	側溝工	暗渠側溝(1)	300x300	m	134. 8	
			集水部	m	14. 0	
		暗渠側溝(A)	300x300	m	43. 6	
			集水部	m	4. 0	
		暗渠側溝(B)	400x600	m	9. 4	
			400x700	m	10. 0	
		調整コンクリート	18N mm2- 8- 25	m3	1. 0	
		集水枳工	街渠枳(2)	箇所	1. 0	
			400x700	箇所	1. 0	

土 量 計 算 書

本線

測 点	距 離	作業土工(縦断水路)			作業土工(縦断水路)			摘 要
		床掘り			埋戻しD			
		断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	
42 + 10.000	0.0	0.2			0.2		0.0	
43 + 0.000	10.0	0.2	0.20	2.0	0.2	0.20	2.0	
43 + 9.864	9.9	0.2	0.20	2.0	0.2	0.20	2.0	
44 + 0.000	10.1	0.1	0.15	1.5	0.1	0.15	1.5	
45 + 0.000	20.0	0.1	0.10	2.0	0.1	0.10	2.0	
45 + 3.376	3.4	0.1	0.10	0.3	0.1	0.10	0.3	
46 + 0.000	16.6	0.1	0.10	1.7	0.1	0.10	1.7	
47 + 0.000	20.0	0.1	0.10	2.0	0.1	0.10	2.0	
47 + 14.576	14.6	0.1	0.10	1.5	0.1	0.10	1.5	
48 + 0.000	5.4	0.1	0.10	0.5	0.1	0.10	0.5	
49 + 0.000	20.0	0.1	0.10	2.0	0.1	0.10	2.0	
49 + 10.000	10.0	0.0	0.05	0.5	0.0	0.05	0.5	
50 + 0.000	10.0	0.1	0.05	0.5	0.1	0.05	0.5	
50 + 3.329	3.3	0.1	0.10	0.3	0.1	0.10	0.3	
51 + 0.000	16.7	0.1	0.10	1.7	0.1	0.10	1.7	
計	170.0			18.5			18.5	

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
暗渠側溝(1)300x300						
NO	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
1	45 + 18.9	～	51 + 0.0	左	101.1	101.1m/20m=5箇所
	町道3-213号線部					
1	0 + 6.7	～	2 + 7.1	右	47.70	47.7m/20m=2箇所
合計					148.80	
集水部延長					14.00	
一般部延長					134.80	

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
暗渠側溝(B) 400x600						
NO	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
4	43 + 0.5	～	43 + 9.9	右	9.40	
合計					9.40	
集水部延長					0.00	
一般部延長					9.40	

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

暗渠側溝 (B) 400x700

[illegible]

調整コンクリート計算書(本線)

調整区間	側溝規格		本数	調整延長 L(m)	最大 h (m)	最小 h (m)	平均h (m)	調整幅 (m)	調整Co量 (m³)
	B	H							
右側									
N0. 42+10. 0～N0. 42+19. 6									
	400	700	5	10. 00	0. 114	0. 175	0. 145	0. 40	0. 58
小計				10. 00					0. 58
右側									
N0. 43+0. 4～N0. 43+9. 864									
	暗渠側溝(B)								
	400	600	4. 7	9. 43	0. 128	0. 076	0. 102	0. 40	0. 38
小計				9. 43					0. 38

延長の合計 19. 43

調整Co合計 0. 96

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

街渠枋(2) 400x700

[illegible]

構造物撤去工

本線

構造物撤去工数量集計表

本線

レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
防護柵撤去	転落防止柵	転落防止柵撤去		m		
					51.0	
構造物撤去工	運搬処理工			t	0.6	576.3kg
	構造物取壊し工	舗装版切断	As舗装版切断(t=15cm以下)	m	7.9	
		舗装版破碎	As舗装版撤去(t=15cm以下)	m2	1169	
	排水構造物撤去工	構造物とりこわし工	有筋	m3	34	
			無筋	m3	5	
	運搬処理工	As廃材処分		m3	113	
		Co廃材処分	有筋	m3	34	
			無筋	m3	5	
		切断汚泥処分		m3	0.1	最小0.1 0.001+0.014

As廃材処分集計表

本線

建設廃材	細目	面積(m ²)	延長(m)	10m当り数量	撤去面積(m ²)	厚さ(m)	撤去体積(m ³)	処分面積(m ²)		処分体積(m ³)	参照頁
As舗装版撤去	(t=30)	56.4			56.40	0.03	1.69	56.40		1.69	
	(t=100)	1112.4			1112.40	0.10	111.24	1112.40		111.24	
合 計					1168.80		112.93	1168.80		112.93	

Co廃材処分集計表

本線

建設廃材	細目	単位当り数量				数量					参照頁
		箇所・m	有筋体積(m3)	無筋体積(m3)	スクラップ重量(kg)	箇所・m・m2	厚さ(m)	有筋体積(m3)	無筋体積(m3)	スクラップ重量(kg)	
転落防止柵撤去		10			113.000	51.0				576.30	
	L型側溝撤去	10			0.453	101.7			4.61		
	暗渠側溝-300x300撤去	10	0.940			36.9		3.47			
	PU-300x300撤去	10	2.400			128.7		30.89			
合 計								34.36	4.61	576.30	

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

轉落防止柵撤去

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

As舗装版切断 (t=3cm)

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
As舗装版切断(t=10cm)						
NO	開始	～	終了	左右	延長(箇所)	備考
8	51 + 0.0				6.5	
小計					6.5	0.023×0.1×6.5=0.014
合計					6.5	0.014

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

As舗装版撤去 (t=3cm)

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

L型側溝撤去

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

町道3-213号線

暗渠側溝300×300撤去

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
PU-300×300撤去						
NO	開始	～	終了	左右	延長(箇所)	備考
10	42 + 10.0	～	48 + 19.1	右	128.7	
小計					128.7	
合計					128.7	

撤去単位数量計算書

工 装 舖

線 本

本 線

[illegible]

鋪 装 計 算 書

本 線

測 点	距 離	車道舗装						摘 要
		下層路盤・上層路盤			表層・基層			
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積	
42 + 10.000	0.0	6.84			7.84			
43 + 0.000	10.0	6.84	6.84	68.4	7.84	7.84	78.4	
43 + 9.864	9.9	6.78	6.81	67.4	7.78	7.81	77.3	
44 + 0.000	10.1	6.89	6.84	69.1	7.89	7.84	79.2	
45 + 0.000	20.0	6.90	6.90	138.0	7.90	7.90	158.0	
45 + 3.376	3.4	6.90	6.90	23.5	7.91	7.91	26.9	
45 + 18.800	15.4	7.50	7.20	110.9	7.91	7.91	121.8	
45 + 18.800	0.0	8.50		0.0	8.50		0.0	
46 + 0.000	1.2	8.50	8.50	10.2	8.50	8.50	10.2	
47 + 0.000	20.0	8.79	8.65	173.0	8.79	8.65	173.0	
47 + 14.576	14.6	9.11	8.95	130.7	9.11	8.95	130.7	
48 + 0.000	5.4	9.13	9.12	49.2	9.13	9.12	49.2	
49 + 0.000	20.0	9.68	9.41	188.2	9.68	9.41	188.2	
49 + 10.000	10.0	10.28	9.98	99.8	10.28	9.98	99.8	
50 + 0.000	10.0	10.88	10.58	105.8	10.88	10.58	105.8	
50 + 3.329	3.3	11.08	10.98	36.2	11.08	10.98	36.2	
50 + 6.700	3.4	11.29	11.19	38.0	11.29	11.19	38.0	N0.51+0.000流用
50 + 6.700		11.29			11.29		0.0	〃
51 + 0.000	13.3	11.29	11.29	150.2	11.29	11.29	150.2	
	車道舗装：a1			353.6			353.6	
小計				1812.2			1876.6	

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
歩道舗装(一般部)路盤						
NO	開始	～	終了	左右	面積(m2)	備考
1	42 + 10.0	～	43 + 9.3	左	46.5	a23
2	43 + 14.3	～	48 + 7.5	左	214.7	a24
3	48 + 12.5	～	48 + 14.8	左	7.4	a25
4	48 + 19.8	～	49 + 4.5	左	11.8	a26
5	49 + 12.8	～	51 + 0.0	左	105.0	a27
	町道3-213号線部分					
6	1 + 6.2	～	2 + 6.7	右	96.9	a2
7	歩道路盤排除					
	42 + 10.0	～	45 + 18.8	左	-148.0	
小計					334.3	
合計					334.3	

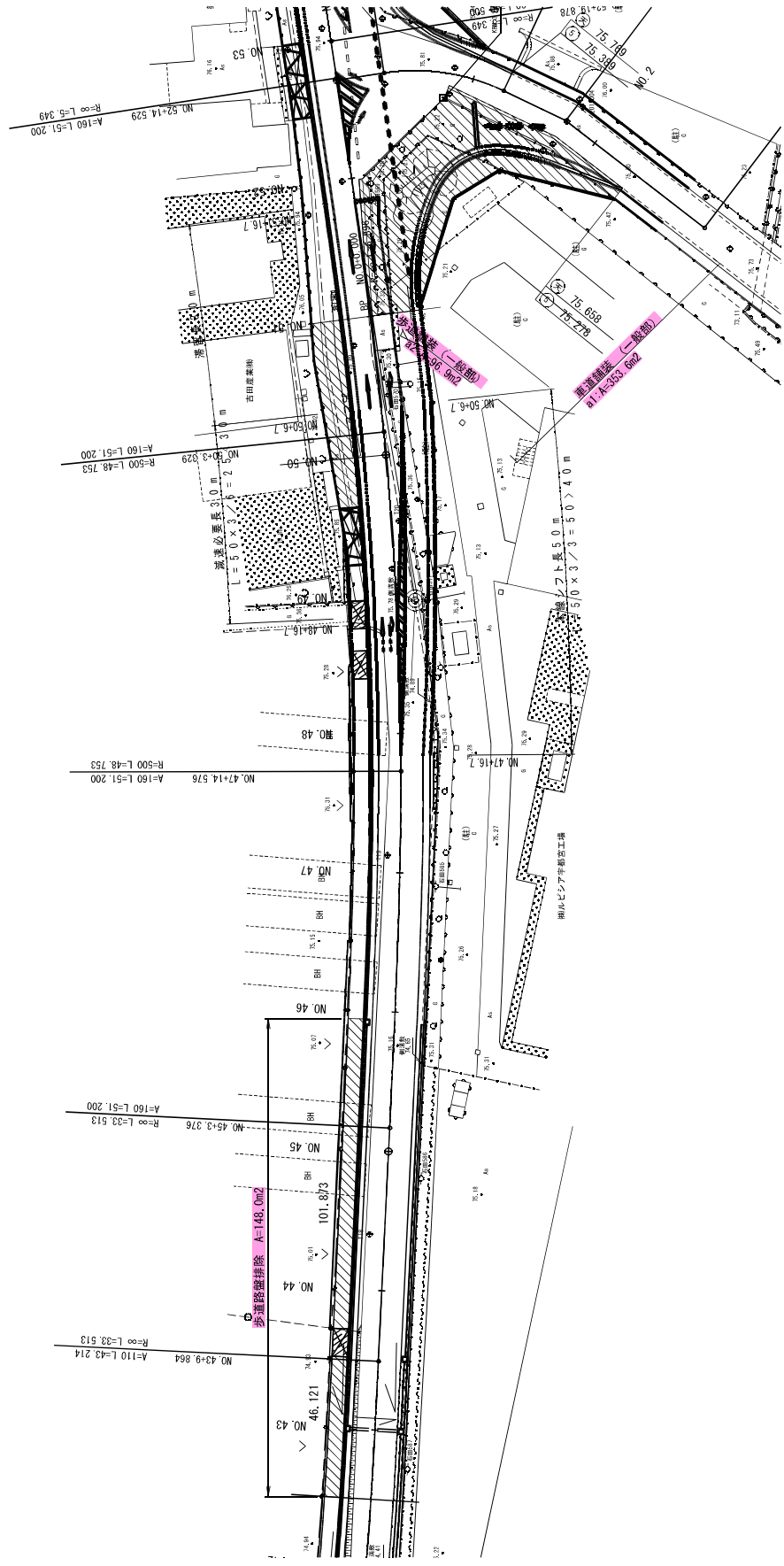
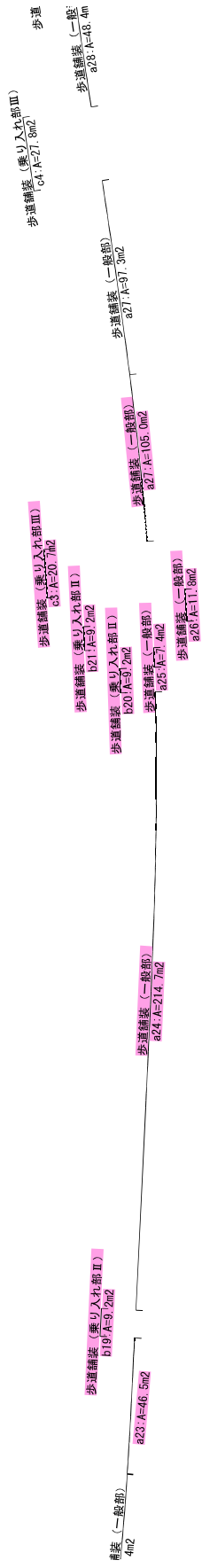
構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
歩道舗装(一般部)舗装						
NO	開始	～	終了	左右	面積(m2)	備考
1	42 + 10.0	～	43 + 9.3	左	46.5	a23
2	43 + 14.3	～	48 + 7.5	左	214.7	a24
3	48 + 12.5	～	48 + 14.8	左	7.4	a25
4	48 + 19.8	～	49 + 4.5	左	11.8	a26
5	49 + 12.8	～	51 + 0.0	左	105.0	a27
	町道3-213号線部分					
6	1 + 6.2	～	2 + 6.7	右	96.9	a2
小計					482.3	
合計					482.3	

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
歩道舗装（乗り入れ部Ⅱ）路盤						
NO	開始	～	終了	左右	面積(m2)	備考
1	45 + 12.6	～	45 + 17.6	右	9.2	b20
2	48 + 7.5	～	48 + 12.5	左	9.2	b21
小計					18.4	
合計					18.4	

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
歩道舗装（乗り入れ部Ⅱ）舗装						
NO	開始	～	終了	左右	面積(m2)	備考
1	43 + 9.3	～	43 + 14.3	左	9.2	b19
2	45 + 12.6	～	45 + 17.6	右	9.2	b20
3	48 + 7.5	～	48 + 12.5	左	9.2	b21
小計					27.6	
合計					27.6	

舗装工数量算出根拠図

本 線



縁石工

本線

縁石工数量集計表

本線

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書						
本線						
縁石(1)						
NO	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
1	45 + 19.1	～	50 + 0.0	左	80.90	
	町道3-213号線部分					
2	0 + 18.9	～	2 + 7.1	右	46.50	
小計					127.40	
合計					127.40	

構造物位置および延長(箇所)調書

本線

縁石(6)

NO	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
4	42 + 10.0	～	50 + 0.0	左	20.20	
小計					20.20	
合計					20.20	

区画線工

本線

区画線工数量集計表

本線

[illegible]

構造物位置および延長(m)調書						
本線						
白色実線(W=15cm)						
N0	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
17	42 + 10.0	～	51 + 0.0	右	170.0	
19	42 + 10.0	～	51 + 0.0	左	170.0	
小計					340.0	
合計					340.0	

構造物位置および延長(m)調書

本線

白色破線 (W=15cm)

N0	開始	～	終了	左右	延長(m)	備考
5	36 + 18.5	～	47 + 17.0	左	109.3	
小計					109.3	
合計					109.3	



道路附属施設工

本線

道路付属施設工数量集計表

本線

[illegible]

特 記 仕 様 書 （●：適用する ○：適用しない）

項 目	事 項
工 程 関 係	●1 本工事の工期は、週休2日制及び雨天、その他年末年始休暇等を見込んでいる。 ○2 河川工事に関する工事であるため、出水期を考慮している。 ○3 本工事区間は、現在_____工事が_____月_____日頃まで施工中なので、工程等に注意すること。 ○4 _____と協議の結果、_____の条件があるので、工程等に注意すること。 ○5 その他 内容：
用 地 関 係	○1 工事用地等に未処理部分があるので、監督員と協議のうえ、立入り等を行うこと。 なお、平成_____年_____月_____日頃、解決の見込である。 ○2 その他 内容：
公 害 対 策 関 係	○1 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵等)のため、次のとおり行うこと。 A. 施工方法： B. 機械施設： C. 作業時間： ●2 本工事の着手と完成時に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督員と協議すること。 ○3 その他 内容：
安 全 対 策 関 係	●1 全作業員に対して、工事期間中定期的に安全教育、研修訓練を、月1回・半日以上必ず行い、施工計画書等に明記すること。特に、作業員が変わったとき及び、作業内容に変更があったときは必ず行うこと。 ●2 一般交通の支障となる箇所には、交通安全管理に十分注意し、道路工事保安施設設置基準により保安施設等を設置し施工すること。 ●3 交通整理員については、警備業者の作業員とし交通整理及び、作業車の誘導等の作業を行うものとする。また、配置場所については、最も適切な位置を選定すること。 交通整理人は、延べ 82 名配置を設計で見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議による。 なお、工事完了後、安全管理についての「<u>交通整理日報(様式-1)</u>」を提出すること。 ○4 その他 内容：
過 積 載 防 止 対 策 関 係	●1 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 (1) 積載重量制限を超えて工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) 差枠装着車、不表示車等に工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車両、差枠装着車、不表示車等から工事用資材・土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプトラック等事業者が過積載を行っている場合又は、差枠装着車、不表示車等を工事用資材・土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び、骨材等資材の購入にあたっては、下請け業者及び、骨材等資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○2 その他 内容：
工 事 用 道 路 関 係	○1 搬入路の取扱は、次のとおり行うものとする。 内容： ○2 仮設道路を次のとおり設置する。 内容： ●3 周辺道路への損傷を把握するため、着工前と完成後に現状調査を実施すること。 ○4 その他 内容：
仮 設 備 関 係	○1 仮設備の構造及び、その施工法を次のとおり指定する。 内容： ●2 仮設備(現場事務所、資材置き場、工事用通路等)の設置のために、農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を借地する場合は次のとおりとする。 (1) 農地等が租税特別処置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2) 請負者は、登記簿等により農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3) 農地等の借地権は町が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4) 農地等は必ず現状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。
排水工(濁水処理を含む)関係	○1 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○2 濁水、湧水等の処理で次の対策を行うこと。 内容： ○3 その他 内容：
工事支障物件等	○1 電柱・地下埋設等の占用物件の工事支障物については、次のとおり行う予定である。 A. 支 障 物 件： B. 移設・撤去方法： C. 移設・撤去時期： ●2 工事区間には、占用物件[上水道・下水道・電話・電気・ガス等]がある(又は工事中)ので、占用物件管理者と施工方法、工程管理等の打合せを行い、工事に支障のないように調整すること。 ○3 その他 内容：

建設副産物関係

項目

事項

事項

●1 建設発生土管理基準関係

① 工事を実施するにあたっては、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完成後速やかに実施書を発注者に提出し、COBRISに情報の登録をすませ監督員に確認させること。また、これらの記録を工事完成後 1 年間保存しておくこと。
なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合でも、再生資源利用〔促進〕実施書は提出するものとする。
また、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）入力システムを利用するものとする。

② 建設副産物処理に先立ち、別紙建設副産物処理承認申請書により監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。

③ 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結すること。

④ 建設副産物処理完了後速やかに別紙建設副産物処理調書を作成し、監督員に 2 部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（位置図、写真等）を提示し確認を受け、竣工図書に添付すること。

⑤ 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付・回収した各票を監督員に提示し確認を受け、E票の写しを竣工図書に添付すること。
なお、回収したマニフェストについては廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ適切に保存すること。

●2 建設副産物の処理基準関係

●土砂捨土処理について

①土砂処理条件（小割・仮置き等）
イ 捨土の種類 岩魂は、径30cm 未満に破碎するものとする。最大寸法30cm未満の塊を含む土砂を処理することは可。
ロ 日曜・祭日・夜間の捨土は原則として不可。
ハ 夜間発生の土砂は、仮置きして運搬捨土するものとする。

②土砂処理場所
●指定（A） 残土の処分場所は、真岡市寺内 L=12.9km とする。
○指定（B） 残土の処分場所は、 8 km の範囲内に処理すると想定するが、発注後、請負者の裁量により処分地を確保するものとし、運搬距離については別途協議する。

○建設発生土処理先の見やすい場所に必ず標識を掲げること。

●建設リサイクル法対象工事について

1. 本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、建設リサイクル法に基づき、分別解体及び再資源化等の実施について適正に処理するものとする。
①分別解体の方法

工程 毎の 作業 内容 及び 解体 方法	工程	作業内容	分別解体の方法
	①仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他（アスファルト取り壊し）	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

②処理について
本工事から発生するアスファスト廃材及びコンクリート廃材は、建設リサイクル法、栃木県土木工事必携建設副産物適正処理推進要綱により、適正に処理するものとする。

③処理条件
アスファルト塊、コンクリート塊の建設廃棄物は、径30cm未満に小割りし、下記再生資源化施設（破碎工場）に、持込み処分するものとする。
再生資源化施設名（コンクリート塊）：（株）鈴建工業 L=10.5km
再生資源化施設名（アスファルト）：瑞穂瀝青工業（株） L=5.0km
再生資源化施設名（木材）：
④請負者は分別解体等・再資源化が完了したときには、建設リサイクル法第 18 条に基づき、別途様式1により監督員に報告することとする。
⑤本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）」に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。
積算上の処理施設：（株）セルクリーンセンター L=12.5km
⑤工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。
⑥その他 内容：

●再生材の利用基準関係（再生クラッシャーラン、再生加熱アスファルト混合物）

①請負者は、再生材の使用にあたっては、「再生材の利用基準」（県土木部制定）に準拠することとし、監督員が別途提示する再生資源化施設に、再生材の供給確認書（様式2）で、供給の可否を確認し、監督員に提出すること。なお、再生材が供給不能な場合は、別途協議すること。
また、現場搬入開始時に目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、再生クラッシャーラン（RC材）品質確認状況報告書を作成のうえ、速やかに監督員に提出すること。なお、報告書については、当該工事における再生クラッシャーランの搬入開始時に 1 枚作成し、その他供給元が変更する毎の初回搬入時に 1 枚作成する。

②請負者は、再生材（再生加熱アスファルト混合物を除く）を使用する場合、3ヶ月以内の材料試験成績表を提出し承認を受けるものとする。なお、使用時期と承認時期がずれる場合は、使用3ヶ月以内の材料試験成績表を、再度提出し承認を受けること。

③請負者は、再生材（再生加熱アスファルト混合物を除く）が500m³以上又は監督員が指示する場合、請負者の責任において試料を採取し、公的試験機関（財）栃木県建設技術センター等）での材料試験成績を提出するものとする。

●4 建設発生土の搬出先への情報提供要領関係

本工事から発生する建設発生土を100m³ 以上、当該工事現場の市町村から他の市町村へ搬出する場合には、「建設発生土の搬出先への情報提供要領」に基づき、実施するものとする。

項 目	事 項
建設副産物関係	● 建設発生土情報交換システム関係 本工事については、建設発生土の工事間利用を促進するため JACIC 工事データとして登録してあります。設計図書の照査(共通仕様書 1-1-3-2)、または設計図書の変更により、工事データに変更が生じる場合は、登録内容を変更するものとする。 (原則として、搬入(不足)土量 500m³以上、搬出(発生)土量1,000m³以上の工事) ○6 その他 内容:
主任技術者	●1 主任技術者の選定 栃県建設工事請負契約款第11条第1項に規定する主任技術者は、原則として下記の基準の者を定め、選任通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。 ①請負対象額7,000万円以上の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という)のうち、検定項目を一級建設機械施工管理または一級土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ロ)技術士法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る)または林業部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る)とするものに合格した者。 ②請負対象額3,000万円以上7,000万円未満の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)上記イに掲げる者または技術検定のうち、検定科目を二級建設機械施工管理または二級土木施工管理とするものに合格した者。 ロ)上記ロに掲げる者。
工事カルテ	● 工事カルテの作成、登録 請負者は、受注時又は変更時に工事請負額が 500 万円以上の工事について、工事情報実績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録期間に登録申請しなければならない。(ただし、工事請負額 500 万円以上 2,500 万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。
アルカリ骨材反応抑制対策	●アルカリ骨材反応抑制対策について 土木構造物に使用されるコンクリートおよびコンクリート工場製品において適用する。ただし仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよいものは除く。また特殊な材料を用いたコンクリートや特殊な配合のコンクリートについては別途検討を行うこと。 1. 現場における対処の方法 請負者は、土木構造物に使用するコンクリートについて、アルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの場合による対処の方法を取らなければならない。 a. 現場でコンクリートを製造して使用する場合…現地における骨材事情、セメントの選択の余地等を考慮し、2.1～2.3のうちどの対策を用いているか決めてからコンクリートを製造する。 b. レディーミクストコンクリートを購入して使用する場合…レディーミクストコンクリート生産者と協議して2.1～2.3のうちどの対策によるものを納入するかを決めそれを指定する。なお、2.1、2.2を優先する。 c. コンクリート工場製品を使用する場合…プレキャスト製品を使用する場合、製造業者に2.1～2.3のうちどの対策によっているものかを報告させ適しているものを使用する。 2. 抑制対策の実施方法 2.1 コンクリート中のアルカリ総量の抑制 試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち直近6ヶ月の最大の値(Na₂O換算値%)／100×単位セメント量(配合表に示された値kg/m³) + 0.53 × (骨材中のNaCl%)／100 × (当該単位骨材量kg/m³) + 混和剤中のアルカリ量kg/m³が3.0kg/m³以下であることを計算で確かめるものとする。防錆剤等使用量の多い混和剤を用いる場合には、上式を用いて計算すればよい。なお、AE剤、AE減水剤等のように、使用量の少ない混和剤を用いる場合には、簡易的にセメントのアルカリ量だけを考慮して、セメントのアルカリ量×単位セメント量が2.5kg/m³以下であることを確かめればよいものとする。 2.2 抑制効果のある混合セメント等の使用 高炉セメントB種(スラグ混合比40%以上)またはC種、もしくはフライアッシュセメントB種(フライアッシュ混合比15%以上)またはC種であることを試験成績表で確認する。また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。 2.3 安全と認められる骨材の使用 JIS A 1145骨材のアルカリ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」による骨材試験は、工事開始前、工事中1回／6ヶ月かつ産地がかわった場合に信頼できる試験期間^(注)で行い、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。また、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)または、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による骨材試験の結果を用いる場合には、試験成績表により確認するとともに、信頼できる試験期間^(注)においてJIS A 1804「コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(迅速法)」で骨材が無害であることを確認するものとする。この場合、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。なお、2次製品で既に製造されたものについては、請負者が立ち会い、製品に使用された骨材を採取し、試験を行って確認するものとする。フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材等の人工骨材及び石灰石については、試験成績表による確認を行えばよい。 (注)公的機関またはこれに準じる機関(大学、都道府県の試験機関、公益法人である民間試験機関、その他信頼に値する民間試験機関、人工骨材については製造工場の試験成績表でよい) 3. 外部からのアルカリの影響について 2.1および2.2の対策を用いる場合には、コンクリートのアルカリ量をそれ以上に増やさないことが望ましい。そこで、下記のすべてに該当する構造物に限定して、塩害防止も兼ねて塗装等の塩分浸透を防ぐための措置を行うことが望ましい。 1) 既に塩害による被害を受けている地域で、アルカリ骨材反応を生じるおそれのある骨材を用いる場合 2) 2.1、2.2の対策を用いたとしても、外部からのアルカリの影響を受け、被害を生じると考えられる場合 3) 橋桁等、被害を受けると重大な影響をうける場合

項 目	事 項
現場代理人の兼任について	●1 現場代理人の専任を要する工事である。 ○2 現場代理人を兼任しても現場の運営、取締り等に支障がない工事である。(上三川町発注工事を1箇所まで) ○2.1 当初請負額3千万円未満の工事との兼任を認める ○2.2 当初請負額3千万円未満かつ工種が舗装である工事との兼任を認める ○2.3 当初請負額1千万円未満の工事との兼任を認める
そ の 他	○1 工事現場発生品があるので、その取扱は次のとおり行うものとする。
	品 名： 数 量： 現場内使用の有無： 搬 出 場 所： ●2 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 (1) 電波法の遵守・不法無線局搭載車両の使用禁止とし、不法無線局を搭載、又は使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (2) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○3 内容:その他
暴力団員等による不当介入を受けた場合について	● 1 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 ● 2 上記●1により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 ● 3 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

電子納品に関する特記仕様書

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
電子納品の対象書類	● 1 工事管理情報 (XML形式) ○ 2 発注図 (SFC形式) ○ 3 特記仕様書 (PDF形式) ○ 4 打合簿 (PDF形式) ○ 5 施工管理資料 (PDF形式) ○ 6 施工計画書 (PDF形式) ○ 7 完成図 (SFC形式) ● 8 工事写真 (JPEG形式) ○ 9 その他 () (PDF形式) ● 10 対象書類以外に電子納品を行う場合は、監督員との協議により実施すること。
電子納品に関し適用する要領・基準等	● 1 上三川町建設工事電子納品実施要領(案)(平成21年4月) ● 2 栃木県 CALS/EC 電子納品運用に関するガイドライン(案)第10版(平成26年4月) ● 3 工事完成図書の電子納品要領 (令和2年3月) 国土交通省 ● 4 デジタル写真管理情報基準 (令和2年3月) 国土交通省 ○ 5 CAD 製図基準 (平成29年3月) 国土交通省
電子納品のフォルダ作成	● 1 工事写真のみを電子納品する場合は、フォルダの作成は必要としない。 ○ 2 工事写真以外の書類を電子納品する場合は、電子納品実施要領(案)に基づき全てのフォルダを作成すること。
事前協議	● 1 工事着手時には「電子納品事前協議チェックシート(土木工事)」(様式ー1)により、電子納品対象書類、ファイル形式、作成ソフト等の協議を行うこと。
成果品の提出	● 1 成果品の提出に使用する電子媒体はCD-Rとする。 ● 2 成果品は基本的には、1枚のCD-Rに格納する。 ● 3 成果品は、正副各1枚ずつ計2枚を提出する。 (正副各1枚の場合のラベル表示は「正1/1」「副1/1」とする) ● 4 CD-Rのラベル及びケースには、「電子納品実施要領(案)」に基づき、必要な情報を記載すること。 ● 5 CD-Rのラベルは、CD-R表面へのプリンタ直接印字または油性マジック等での書込みとする。(ボールペン・鉛筆など硬質な筆記具の使用不可) ※ラベルシール等の貼付けはしないこと。(全面貼付けも不可)
インデックスプリント (簡易写真帳)の提出	● 1 工事写真の電子納品にあわせてインデックスプリントを作成し、検査時に提出する。 インデックスプリントとはA4サイズの紙に代表写真のみを抜粋してカラー印刷したもので、縦5行・横3列の15枚ずつを原則とする。各写真の下に「工種」「写真タイトル」「撮影箇所」を3行で記入すること。(極力枚数を少なくし、簡易な製本とする。) ● 2 代表写真は、工事全体の流れがわかる写真とし、「栃木県土木工事共通仕様書」の「栃木県土木工事写真管理基準(案)」における提出頻度程度(提出枚数は、電子納品した写真データの1割程度を目安)とする。
そ の 他	● 1 提出する CD-R 内には閲覧ソフト(ビューソフト)を入れないこと。 ● 2 疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し指示を受けること。

位置図

S=1:10,000

町道3-123号線

工事箇所



公表単価一覧表

工事及び業務名 道路改良工事 町道3-123号線その6

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
管渠型側溝	400×700 標準部 蓋別体	m	23,400			○	
街渠柵(2)	400×600×1000	個	71,500			○	
街渠柵(2)	400×700×1000	個	73,500			○	

(備考)
1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。
2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」機械器具等の損料または賃料
「労」労務費
「材」材料費